

伊勢崎市立殖蓮幼稚園ワンダフルクラブの活動について

(父親の家庭教育への参加活動)

1、はじめに

このクラブは平成16年の父親の家庭教育参加促進事業「ぐんま父親クラブ」への応募をきっかけに発足した。園児の父親が中心となって活動を企画、運営しているこの「殖蓮幼稚園ワンダフルクラブ」の活動を通じて、現在までの活動内容や、父親の家庭教育への参加の意義などについて発足から3年目を迎えたのを機に振り返ることにした。

2、設立まで

前述したとおり、発足のきっかけとなったのは県教育委員会主催事業の応募案内を機に、園長先生やPTAから園児の父親に対しての案内があり、呼びかけに集まった父親有志や園関係者による会合において子育てにおける父親の関わりについて話し合ったところ、以下のような意見が多く出された。

- ・母親のPTA活動の取り組みは活発だが、父親の子育てへの参加の姿が見られない。
- ・今の子供達の遊びの中に昔の子供達のような遊びが少なくなってきた。
- ・家庭の中で父親の存在が薄れてきている。
- ・父親でなければできない遊びを子供達に経験をさせたい。

など、子育てにおける母親への依存が高い状況をはっきりと反映する意見が多くを占める一方、父親からも子育てに決して無関心というわけではなく、忙しさを理由についつい・・・と反省もあったようである。

これを機に「家庭では味わえない、幼稚園とは違った大人数の中での家族の体験、経験をさせてやろう」と、高い教育目標を掲げるのではなく、気軽に父親と子供達が触れあえる時間を作れないかの気運が高まり、多くの父親の賛同を得て「父親クラブ」の設立に至った。

設立にあたっては父親が中心に企画、運営に携わっていくこととしたが、イベント時の会場は幼稚園施設を借りたり、イベント中のけがなどの心配もあるためPTAの認可団体という形式とすることにより活動費援助を受けるとともに、運営におけるアドバイスなどを得るなど、幼稚園、PTAとの協力関係のもと活動していくことにした。名称において

は設立当初は「殖蓮幼稚園父親クラブ」であったが、現在ではお母さんと子供での参加も気軽にできるように「殖蓮ワンダフルクラブ」に名称変更している。

3、活動実績

イベントの企画立案においては以下のことに考慮して広くアイデアを求めながら企画を決定し、実施している。

- ・おおむね2時間程度の内容とすること
 - ・多くの父親が参加しやすい日程とすること
 - ・多人数参加の特徴を活かすこと（兄弟姉妹の参加もOK）
 - ・親子そろって体験（製作、競技等）できること
- など

平成16年度

実施日	タイトル	内 容
9 / 18 (土)	水鉄砲作り	竹で水鉄砲を製作し、的当て競技
10 / 24 (日)	バーベキュー	まゆドームでバーベキュー
12 / 5 (日)	幼稚園餅つき手伝い	

平成17年度

5 / 21 (日)	紙飛行機飛ばしっこ	紙飛行機を製作後、飛距離を競う
7 / 9 (日)	幼稚園夏祭り手伝い	
7 / 31 (日)	流しそーめん	竹の流し台で流しそーめん
10 / 16 (日)	竹とんぼ飛ばしっこ	竹とんぼを製作後、飛距離を競う
11 / 3 (土)	幼稚園餅つき手伝い	
2 / 5 (日)	段ボールで迷路作り	段ボールで大迷路を製作

平成18年度（11月末まで）

5 / 21 (日)	ボーリング&輪投げ	ペットボトルでボーリング&輪投げ
7 / 15 (土)	幼稚園夏祭り手伝い	
7 / 30 (日)	流しそーめん	竹の流し台で流しそーめん
11 / 26 (日)	クリスマスツリー作り	紙でツリーとリースを製作

(イベントの概要)

父親達がもっとも都合のつく時間ということで、ほとんどのイベントを日曜日の午前中に実施してきた。父親が企画運営していく趣旨から、なかなか準備に時間をかけられない事情や、費用も最小限に抑えたいこともあり、内容的にはいたって簡単な内容であり、子供達の反応はどうだろうと心配することもあるが、そんな心配は無用のようで、毎回多数の参加を頂いているところである。「流しそーめん」などは大盛況で毎年の恒例行事になりそうな気配である。この「流しそーめん」においては地域のお寺の好意により、寺の敷地内の竹を父親達が切り出し後、半分に割り、節を取り除いて準備することから、事前準備も大変であり、かなり大きなセットを組んでの実施なので、家庭においてはなかなか体験できないことが人気となっている。またどのイベントにおいても多人数の中での遊びであるため、子供達が競いあったり、相談しあったりと、やはり家庭内では得られない体験をしているようである。そして我々にとって特にうれしかったことが、父親自身が何より楽しんでくれていることであり、これは参加した父親からの以下の感想からも実感できる。

- ・初めて参加しましたが、予想以上の盛り上がりで驚きました。
- ・普段家で見られない我が子の一面を見られた気がします。
- ・個人ではできないことを、たくさんの人数で体験でき良い思い出になりました。
- ・考えると親も経験がなかったので、一緒に楽しめました。
- ・竹とんぼの飛ばしっこに親子で熱くなってしまいました。
- ・本物の竹での流しそーめんは初めてで感動しました。

など

また、幼稚園の行事においてもなるべくワンダフルクラブとして、お手伝いをする事により、クラブのイベントへの参加をためらっている父親達との交流も図れるのではと積極的に協力をさせてもらっている。

イベントの実施後には、イベントの様子や父親からの感想などを掲載することにより、活動の報告とあわせて活動への理解を深めてもらう目的で、「ワンダフルクラブ便り」を発行している。もちろん父親達の作成によるものである。

(イベントの様子)



(ワンダフルクラブ便り)

参加して... 稲葉ワンダフルクラブ

稲葉ワンダフルクラブは、稲葉小学校の児童が中心となり、地域の皆様と連携して、様々なイベントを開催しています。

今年度は、夏祭りの開催を予定しています。ぜひご来場ください。

お問い合わせ先：稲葉小学校 電話：0294-22-1111

参加して... 稲葉ワンダフルクラブ 便り

稲葉ワンダフルクラブは、稲葉小学校の児童が中心となり、地域の皆様と連携して、様々なイベントを開催しています。

今年度は、夏祭りの開催を予定しています。ぜひご来場ください。

お問い合わせ先：稲葉小学校 電話：0294-22-1111

参加して... 稲葉ワンダフルクラブ 便り

稲葉ワンダフルクラブは、稲葉小学校の児童が中心となり、地域の皆様と連携して、様々なイベントを開催しています。

今年度は、夏祭りの開催を予定しています。ぜひご来場ください。

お問い合わせ先：稲葉小学校 電話：0294-22-1111

4、まとめ

父親達はそれぞれ仕事を持ち、集まる機会が限られてしまう中、毎回の企画においては十分な準備などできずに当日になって混乱することが多いのだが、そんな事は子供達には全く関係がないようで、父親達が慌ててる様子を見ては喜び、どんな企画でも子供達でおもしろく変えてしまう遊びの天才ぶりを十分に発揮している。一方父親達は勝手の違うそれぞれの係に奮闘し、時にはいたずらをした子供達を怒鳴ったりと、仕事とは異なる疲労感を感じつつもある種の充実感を感じているようである。クラブ発足の動機でもある、子供達と同じ時間を共有するという目的は十分に果たせているのではないかと考えている。

決して大げさな教育的目標を掲げたクラブの運営ではないが、今となっではいじめをはじめとする子供達の諸問題や、親の教育についての話題等を聞くたびに、我々の活動が子供達の成長のみならず、親としての意識の持ち方にもきっと好影響を与えるに違いないと確信しているところである。子供に関心を持ち、自分の子供以外と積極的に関わりを持って、さらに父親同士のコミュニケーション機会が増えることは、これから先の家庭教育および地域社会での子供達への関わり方として大きな効果が期待できるのではとと思っている。地域全体での子育てという面から、こういった活動がきっかけになって、地域での活動（子供会等）の活性化につながれば理想的ではないだろうか。

発足から3年目を迎え、軌道に乗ってきた部分もあるが、園児の卒園に伴って父親達もクラブからは卒業になってしまうので、クラブがこれからもずっと存続するかどうかは分からないが、その時々にあった形で、父親達の存在を子供達にアピールしてもらいたいと思っている。